

研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<研究課題名>

軟骨低形成症における出生時の新たな体格指数のカットオフ値の作成

<研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 小児科 (研究責任者) 森岡 一朗

<研究期間>

承認日 ~ 令和 (西暦 2023) 年 3 月 31 日

<研究の目的と意義>

軟骨低形成症は乳児期に特徴的な所見が乏しく、幼児期に低身長を契機に診断されることが多いです。軟骨低形成症の診断には、全身骨 X 線の読影が必須であるが、幼児期の全身骨 X 線では軟骨低形成症の所見が判別しづらく、診断が遅れる症例や診断できていない症例もあるといわれています。一方、新生児期の全身骨 X 線は特徴的な所見がより顕著であることが報告され、現在、新生児期の骨盤および大腿骨の X 線を用いたスコアが有用とされています。しかし、新生児期に軟骨低形成症を疑うことは容易ではありません。そこで我々は骨系統疾患のスクリーニングのために出生時の新たな体格指数を開発しました。

今回、軟骨低形成症の早期発見のために軟骨性形成症における出生時の新たな体格指数のカットオフ値を作成することを目的としています。

軟骨低形成症の出生時の新たな体格指数のカットオフ値を作成することができれば、早期に軟骨低形成症を診断し適正な時期に治療介入をしていくことができます。

<利用する試料・情報の項目>

診療記録より、診断年齢、診断方法、性別、初産・経産、在胎週数、出生時の体重・身長・頭囲、胎児エコーでの FL、1 カ月健診時の体重・身長・頭囲などの情報を使用します。

<対象となる方>

共同研究機関で軟骨低形成症と診断された方。

2016 年 1 月 1 日から 2016 年 12 月 31 日までに東京都立大塚病院または日本大学板橋病院で出生した方 (比較対象の症例として)。

<研究の方法>

共同研究機関から情報を収集し、軟骨低形成症の症例と一般新生児の症例の新たな体格指数についてのカットオフ値を作成します。

<お問い合わせ窓口>

研究代表者：日本大学医学部附属板橋病院 (東京都板橋区大谷口上町 30-1)

小児科 氏名：森岡 一朗

電話：03-3972-8111 内線：(医局) 2442 (PHS) 8120

研究分担者：慶應義塾大学病院（東京都新宿区信濃町 35）

小児科

氏名：石井 智弘

電話：03-3353-1211

内線：62365